

# 痛み

慢性化すると  
生活の質の低下などに  
つながる“痛み”

痛みは本来、私たちの身体に何らかの異常や異変が起こっていることに気づかせてくれる大事なアラーム（警報）です。こうした急性の痛みは原因となるけがや病気が治れば和らぎますが、痛みが長く続いたり大きなストレスにさらされたりすると、脳や神経系に変化が起り、痛みをより強く感じたり、慢性化して痛みだけが残ったりすることがあります。

けがや病気などで、誰もが経験する痛み。特に、肩や腰、ひざなどの長期間続く痛みはつらいものですよね。痛みの種類や治療法について知り、付き合い方を考えてみませんか？



慢性的な痛みをコントロールできないと、日常生活動作やQOL（生活の質）の低下につながるほか、筋力の低下や、痛みへの不安や恐怖からうつ状態を招くことも。うつ状態になると痛みに対して敏感になり、より痛みを感じやすくなるという悪循環に陥る恐れもあります。

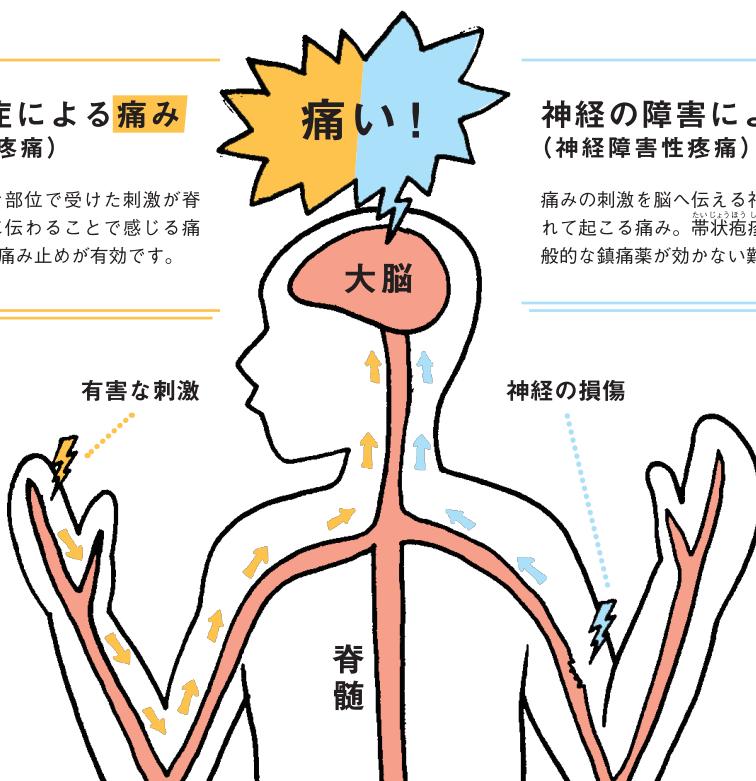
痛みは我慢せず、早めに適切な処置を受けることが大切なのです。

## けがや炎症による痛み (侵害受容性疼痛)

身体のさまざまな部位で受けた刺激が脊髄を経由して脳に伝わることで感じる痛みです。一般的な痛み止めが有効です。

## 神経の障害による痛み (神経障害性疼痛)

痛みの刺激を脳へ伝える神経の一部が障害されて起こる痛み。帯状疱疹後神経痛など、一般的な鎮痛薬が効かない難治性の痛みです。



# もし痛みが 続いて困ったら

兵庫医科大学病院には、各専門外科や専門内科とは別に、「痛み」を専門としているペインクリニック部があります。痛みが続いて困ったら、我慢せずにご相談ください。

兵庫医科大学病院

## ペインクリニック部

病気やけがではなく、「痛み」そのものに対する治療を行っているのがペインクリニック部。特に、一般的な鎮痛薬が効かない神経障害性疼痛など慢性の痛みを中心に、患者さんの状況や思いを聞き取り、相談しながら、少しでも日常生活が楽になるよう治療を行っています。集中的に治療が必要な場合や脊髄電気刺激療法など特殊な治療の場合は、入院での治療も可能です。痛みでお困りの場合は、ぜひご相談ください。



✓ 主な対象疾患	
たいじょうほうしん 帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛	さんさ 三叉神経痛
つしかんばん 椎間板ヘルニア	かぶんせん 肩関節周囲炎
かたせうわくとう	へいそくせい 閉塞性動脈硬化症による
せきちょうかんきょうさく 脊柱管狭窄症	しきちゅうかんきょうせき 四肢の血流障害
がんじゆう	など

がんに向き合う患者さんや  
ご家族を支える

## 緩和ケアチーム

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなどが、それぞれの専門性を生かしながら力を合わせ、がんによる痛みや倦怠感、不安や心のつらさ、療養中の生活などについて、患者さんやご家族と一緒に考え、QOL(生活の質)改善をめざします。



## がんの痛みに対する取り組み

薬でコントロールすることの難しいがんの痛みに対しても、内臓神経ブロックなど大学病院ならではの治療を行っています。がんを治療する診療科などと連携し、早期から治療と並行して、質の高い緩和医療を実践しています。

兵庫医科大学病院で実践している

## 痛みの治療

兵庫医科大学病院ペインクリニック部では、痛みへの治療を専門にしている医師が、大学病院ならではの高度な専門医療などを用いて治療を行っています。

### 神経ブロック療法

神経やその周辺に局所麻酔薬を注射し、痛みが伝わる経路をブロックすることで痛みを取り除きます。血行を良くし、筋肉のこわばりを緩和する作用もあります。のどのあたりにある交感神経の機能を一時的に抑える「星状神経節ブロック」や、腰のあたりの硬膜外腔に麻酔薬を注射して神経の興奮を抑える「硬膜外ブロック」など多くの種類があります。

### エコーチューブ下神経ブロック療法



近年では、X線透視や超音波（エコー）装置などを使用して、痛みに関与している神経のそばに正確かつ安全に神経ブロックを行うことが可能です。

### 高周波熱凝固法／パルス高周波法(PRF)



局所麻酔薬による神経ブロック療法よりも効果を長続きさせたい場合に用いられます。針先から高周波電流を流すことのできる特殊な機械を使って神経伝達を遮断し、痛みを取り除きます。

### 脊髄電気刺激療法

ペースメーカーのような装置を使って、脊髄に微弱な電気を流すことで慢性の痛みを和らげます。脊椎手術後の痛みや脊柱管狭窄症、帯状疱疹後神経痛などの神経障害性疼痛や、末梢血管障害などに対して効果が期待できます。



### 薬物療法

通常の痛み止めが効かない神経障害性疼痛には、抗うつ薬や抗てんかん薬、オピオイド鎮痛薬などを使って治療を行うことがあります。痛みの種類や有効な薬剤をしっかりと見極め、安全で効果的な薬物治療を実践しています。

